

Tr5 デート右映画館囁き手コキ 5299文字

※「えっちだけの関係」から「プライベートでもつながりのある関係」に変わっていくトラックです！

※今までのヒロインは本質的な繋がりを断ってきたので、親密な関係になっていくことに気まずさを覚え、感情が安定しない様子です。

※映画館の場面ではやや静かめをお願いします。

▼待ち合わせ

SE:街の喧騒(小)

【位置:やや左 距離:中】

(遠くから呼ぶ声が聞こえる)

あ、いた。

せんぱーい、こっちですー。

【位置:中 距離:近】

こんにちは。

すみません、少し、準備に時間がかかってしまって……。

……あ、先輩もいま来たばかりなんですか。

(いつも通り落ち着きは保ちつつ嬉しそうに)

へえ、ふうん、そうですか。

……え？

はは、変な顔してます？

ん、ちょっと面白くて。

だってまだ15分前ですよ、約束の時間まで。

んふ、私達似てますね。

約束のある日って、なんかそわそわしちゃうので……。

それで先に待ってようかと思ってましたけど。

まさか、先輩が先に居るなんて……。

んでも……。

今日はいろいろ準備してたので、いつもよりは余裕なかったかもです。

(じれったそうに服をひらひらさせたりしながら)

……ほら、こうして私服で会うのって初めてじゃないですか。

だからまあ最低限おしゃれくらいはしとこうかなと……。

私こんなフリフリ？な服、慣れて無くて……。

……えと

どう、ですかね？

おかしくないですか？

(急な褒めに弱い)

……。

可愛いつて……。

もう、私はおかしくないか聞いただけなんですけど……。

(ため息をいれて落ち着かせる)

ふう、先輩に聴くのが間違っていました。

そろそろ行きましようか。

まだ時間ありますけど、ここに居ても寒いだけですしね。

▼シアター入場、開演

(気まずさを誤魔化すようにやたら話しかけてくる)

SE:足音フェードイン

(暗いシアターの中を二人並んで歩く)

【位置:左 距離:近】

えっと、私達の席は……

もう少し上ですかね。

ん……。

あ、ここみたいです。

どっちがいいです？

通路側か、中側か。

見える角度とか違うと思いますけど。

了解です、足元楽なので助かります。

私も、お隣失礼しますね。

SE:シートに座る音

【位置:右 距離:近】

ふう……。

おつきいですね、スクリーン。

なんか緊張します、音も過ごそうで。

先輩は映画とかよくみられるんですか？

ふふっ、私も。

今の時代、やっぱりサブスクになっちゃいますよね。

この映画見たいなっつてなる有名作だと、なおさら配信も早かったり。
他の人に気を使うことなく没入も出来て……。

(ここは独り言のように小さく)

それに……。

今日は特に、隣に先輩がいるので緊張が……。

……え？

あいえ、ほら、なんか懐かしいなって。

(気まずさから徐々にフェードアウトしていく)

こうやって、静かに何かを見るって文芸部のころを思い出すじゃないですか。
あの頃は私達、プライベートの話しなんか、一切してなかったのに。
不思議ですよね、あはは……。

えっと……。

あ、先輩はこの映画のこと知ってます？
若い女の子たちの間で話題らしいですよ。
大人気恋愛漫画の実写化……とかで。

なるほど、あまり恋愛ものとかは読まない派ですか……。
たしか、病気を抱えた女の子と引っ込み思案の主人公との、
保健室から始まる静かだけどダイナミックで泣ける話……とか……。
……あ、軽くネタバレしちゃいました？

はは、すみません。

なんかちょっと、このまま始まるまで待ってるのが気まずくて、つい……。

(恥ずかしさを誤魔化すようなトーンから、自分を俯瞰的に見て自嘲するような明るさへ)

許してください。

いまのはまああらずじくらいなので……。

ふふっ、ありがとございます。

あ、そろそろ始まりそうですね。

楽しみです。

▼映画上映中

※ここから先は、眠たげで情緒が安定せず不用意に発言してしまう。

(数秒間呼吸のみ)

……。

……。

(眠たそうに)

……あ、肩。

すみません。

少し疲れて、先輩の肩で寝てしまっていました……。

今、いいところみたいです。

主人公がヒロインに想いを伝えて……。

んふ、好きだよって言ってます。

先輩はこの子みたいに、好きな人とかいるんですか……？

いつも私の相手、してくれてますけど……。

(ここはあまり感情を見せず淡々とした感じで)

……へえ、そうなんですね。

私、ですか……？

私はまだちょっと、そういうのよく分からないですね。
なんというか、いつも周りに合わせたままなので……。

思うことが本当のことなのか、猫を被ってるだけなのか……。

（眠たさを感じながらもここはやはりつきりとした感じで）

……あの。

先輩はいつも楽しいですか？

自分の好きなことだけに一生懸命で、

でも、だからいつも一人で。

はは、すみません。

ですよ、今の私、おかしいですよね……。

眠たさと、変な空気感に気がほだされてるのかもです。

（静かに一呼吸）

……。

……えと。

また今日もしていいですか……？

いつものえっちなこと。

動いていれば眠気も冷めると思いますので……。

……いいですよね？

……だって先輩の肩すごく震えて、興奮してるのが分かりますから。

私の頭を預けてる、おっきな肩……。

髪にも、あったかい息があたって……。

抜いてほしいですよ、この熱……。

大丈夫ですよ、多分。

映画館の中暗めなので、先輩が見られることも無いでしょうし……。
……ね？

（「うん」は甘めで）

……うん、ありがとうございます。
先輩の、出しますね……。
このまま、チャックだけおろして……。

SD:チャックを下ろす音

【位置:右 距離:密着 有声音囁き】

……ん。
んっ……。

（暗めの中、形を捉えるように手探りしながら）
んっ……と、先輩の……。
んふっ、ありました。

（視線を落としおちんぽにゆっくり語りかける）
がちがちになってます……
映画館でおっきくなっちゃったおちんぽさん。
だめですよ……？
上映中はおとなしくしないと……。
私の手で、静かにさせてあげますから……。

（視線を戻し通常トーンで）

このままシニコシしますね。
いつもより強めで、すぐにおわるように……。
……ん。それじゃ……。

SD:手コキ音開始(ゆっくり)

※※※以降の台詞は浅く呼吸を入れながらでお願いします!!

んっ、んっ……。

んっ……。

先輩が好きな速度、これくらいですよね……？

……んふ、良かったです。

もう私たち、何回もしてるのでわかってきました。

どうしたらいいか、気持ちよくなるのか……。

ん、んふ……。

こうやって、手首をひねるみたいにコネコネしたり、
精液がいっぱいのごこも、優しくなでてあげたり……。

んっ……。

それから……。

こうやって、手のひらで全体を包んであげるのも……
好きですよね？

(手の中でむくむくと反応するのを感じながら)

やっぱり。

びくびくって反応してます。

ん……。

真っ暗だから、いつもより先輩の形を感じてしまいますね、これ……。

少し摩擦のある肌と、浮き立った血管……。

私の肌に直接、伝わってきます……。

んっ……。

もっと味わってくださいね。

たくさんの人がいる中での、おちんちんし……。

ん、んふっ、ふう……。

そういう反応をしてもらえると、私も目が覚めてきますので。

あ、でも声は出さないようにしないとですね。

いつもの教室なら誤魔化せますけど、

今日は知らない人がたくさんですし……。

急にぱっと明るくなりでもしたら、

絶対晒されてしまいますよ、私達……。

男の人の肩で眠たそうにしながら、

こうやっておちんば気持ちよくしてる姿……。

んっ、んっ、ふう……。

……あの。

ここ、ぴくってしましたけど……。

もしかして、見てもらいたいんですか？

また……。

へえ、そうですか。

いけない人ですね、先輩は。

んふ、ダメなのは、私もですけど……。

(……は少し温度感を落として切ない感じで)

……あの。

もし本当に見られてしまったら、どう思われるんですかね……？

私達の関係……。

この映画みたいに、いろんな葛藤を乗り越えて結ばれたのか、それとも、えっただけの関係なのか……。

んっ……。

先輩はどっちに思われたいですか……？

恋人か、えっちな友達か……。

(分からない自分に呆れるような明るさで)

んっ……。

……そうですよね。

自分も、わかりません。

……あの。

いま私、気分が変なので少しだけ漏らしてしまいましたが……。私、信頼できる人って先輩くらいしか居ないんですよね。

……はは、意外ですか？

だって、あの時の私を知ってるのに、先輩は否定してこなくて。

んっ、ふう……。

もちろん同じグループっていうのもあると思いますが……。でもほら、同族嫌悪って言葉もよく聴くじゃないですか……。

んっ……。

数年ぶりに会っても無茶なお願いを聞いてもらえて……。だから、信頼はしてるんです。

んっ、ん……。

けど別にそれが、恋愛感情というわけでもなさそうで……。

この主人公みたいに悩んで眠れないってこともないですし……。

改めて考えると、わたしたち変な関係ですね。

最初の、私の経験不足っていうのはもう解消されたはずなのに、
こうしてまだ一緒に居ます……。

んう、不思議です……。

んっ……。

あの……。

少しだけ、こっち向いて貰えませんか……？

映画中に、申し訳ないですが……。

【位置：中 距離：近】

……ん、ありがとうございます。

えと、失礼します……。

(舌先が触れ合う程度のキス)

んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、んちゅうっ、ちゅっ、ちゅっ……。

んっ、ふう……。

すみませんちゅっと、確かめてみたくて……。

キスしたら、よく分かるのかなって……。

いやでしたか……？

いやじゃない、ですか……。

そうですか。

……なら、もう一回良いですか……？

まだ分からなかったので、もう少し……。

んちゅっ、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……
んっ……ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……。
んっ、ふう……。

(自嘲気味に笑いながら)

はは、やっぱり、分かりませんでした。

(キスの向き合う体制から若干もとに戻る)

【位置：やや右 距離：密着】

キスって、愛を確かめるために……？

とか、聞いてましたけど……。

逆になぜか、むかむかしちゃって……。

いつもはもっと上手く立ち回れるのに、先輩の前だとこんな調子で……。

……ふう、やっぱり今日の私はよく分からないです。

んっ……。

んっ、ふう……。

あの……。

こ、こ、こ、きつきよりもおつきなってるみたいですけど……。

ん……。

キス、好きでした……？

(気まずそうに)

……はは、そうですか。

でも、今日はもうなしでお願いします……。

なんというかその、気まずかったので、あれ……。

先輩と一つになるみたいな感覚……。

もう私達、既にセックスしてるのに、おかしくて……。
なので代わりに、一生懸命このまま……。

※※※手コキをやや早くしつつ、んっ」「ふっ」の呼吸音も少し強めで

んっ、んっ、んっ、んっ……。

こっちも、シコシコしてあげますから。

これで許してください……。

んっ、ふう、んっ……。

刺激、強いですか……？

はぁ、はぁ……って呼吸。

映画の音なんかよりも、ずっと聞こえてきます……。

んっ、んっ、んっ……。

我慢しなくても良いんですよ。

気持ちよかったら、いつもみたいに声を出しても……。

少し漏れてしまったところで、きつと、

姿勢を正したとか、そのくらいにしか思われないでしょうから……。

だから先輩……。

もっと聞かせてください……。

私の手で、気持ちよくなってるって、アピールしてください……。

んっ……。

んっ、んっ、んっ……。

声、すごいです……。

嬉しいですよ。私で感じてくれて……。

いつものその声も……。

なんかちょっと、安心します。

(少し切なそうな含み)

んっ……

今日、ずっと変な気分なので……。

とりあえず今は先輩を気持ちよくさせてるって思えるだけ、
多少ましに思えるので……。

んっ……。

んっ、んっ、んふう……。。

【位置：中 距離：密着】

(急なキスで戸惑いながら)

んっ……。

んちゅっ、ちゅっ……

ちよっと、先輩……。

ちゅっ、ちゅっ……。

さっきダメだって言ったのに、ちゅっ、んちゅっ、どうして……。
んちゅっ、えろえろ、ちゅっ……。

ふう……はあ……

(少しだけ距離を離す)

どうしたんですか……？

いきなり……。

(普段はあまり見せない焦り)

アピールって……。

たしかに言いましたけど……。

でも、それは……。

吐息とかそれくらいのものでこんな……。

んっ、ふう……。

だからもうやめてください……。

前の人、絶対気づいてますって……。

聞き耳立てるみたいに肩を張ってて……。

(舌を無理やりいれてくるキス)

んっ……。

ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ……えろえろ、えろ……。

先輩、舌……。

ちゅっ、んちゅっ……。

えろ、えろ、ちゅっ……。

ふう……はあ……。

(開き直って受け入れてる感を出しつつも嬉しさもある)

もう、わかりました……。

どうなっても知らないですよ……。

先輩がいけないんですから……。

(キス待ちのように唇を差し出しながら)

んっ……。

ほら、したいんですよね？

どうぞ……。

(舌を這わせるキス)

ん……。

ちゅっ、えろえろ、えろ、んちゅっ……。

んちゅっ、ちゅっ、えろえろ……。

ちゅっ……。

手の先、ぬめぬめしてきました……。

これ、先走り汁……ですよね？

いつもより濃くて、むわむわした臭いも……。

ふう、そんなにこれ、好きなんですね……。

ん、まあいいですけど……。

先輩が必死すぎて、逆に落ち着いてきましたから……。

(ラストスパートに向けてやや激しめに長く)

ん……。

んちゅ……んちゅう、んちゅつ、ちゅう……。

えろえろ、えろ……ちゅううつ、ちゅつ、んちゅ、んちゅ、ちゅう……。

そろそろイキそうですか………？

口の中であったかい息かんじます……。

(「うん」は甘えを出すような感じで、敬語から外れる)

……うん、いいですよ。

もっこの汁だして……。

精液も、ぴゅーってしちゃっても……。

(キスは恥ずかしそうに言い淀む感じで)

えっと……

この、キス……で。

はい、どうぞ……。

ん……。

んちゅ……んちゅう、んちゅう、んえろ、えろ、ちゅう、ちゅう、ちゅう……。

えろ、えろ、えろえろ……。

（本当は嫌じゃなかったという気持ちを含むように軽く微笑みながら）

そんなに出て、気持ちよかったですか……？

私は嫌だつていったのに、無理やりキスしてきて、それもこんな場所で……。

いいですけどね、まあ。

私もスッキリしましたので……。

気分も落ち着いて。

それに、少し悩んだこと、とか……。

……あ、いえ。なんでも。

（一呼吸ついてからえつちな雰囲気から離れる）

ふう……。

これ、ハンカチつかいますか……？

そのままにしてたら匂いとかついちやいますよね？

大丈夫ですよ、洗って返してもらえば。

ん、どうぞ。

改めてみると、すごいことしてたんですね、私達。

もうスタツフロールが流れて帰る人もちらほらいるのに、

私達はこんなにべったり……。

（自嘲気味に微笑みながら）

付き合いたてのカップルみたいですね、これじゃ。

（今までのセックスをして写真を撮ってゝの関係ではなくプライベートの関係に）

こんな面白い構図。

写真を撮っておきたいところですけど、流石に辞めておきましょうか。

今日はいつもと違いますしね。

……それとも、先輩はあの写真が無いと付き合ってくれないんですか？

ふふっ。

……あの。

このあとお時間ありますか？

いつもは私が知りたいことを教えてもらってますけど、

たまには、先輩が私に教えたいことを知りたいなって……。

どう、ですかね……？

（嬉しさから敬語から外れる）

あ、本当……？

んふ、良かったです。

もっと教えて下さいね。

先輩のことを知れたら、私も、自分のことがわかんと思うので。

（最後はより温かみのある感じで）

……はい、よろしくお願いします、先輩。